

ガスケット今昔 シール効果向上処理

シリンダーヘッドガスケットは燃焼に伴う圧力、発熱、シリンダー膨張を吸収する柔軟性などを持ち合わせ、且つオイルライン、プッシュロッド通路との遮断を受け持っています。経時変化でガスケットは痩せ、柔軟性が無くなり吹き抜けやオイル吸入漏出が起きます。画像は1000ccモデルのシリンダーヘッドガスケットですが手前のもは当時の部品で奥のものは現在入手できるものです。 オイルライン、プッシュロッド通路部にはシール材が塗布されていてガスケットの寿命が長くなっています。

